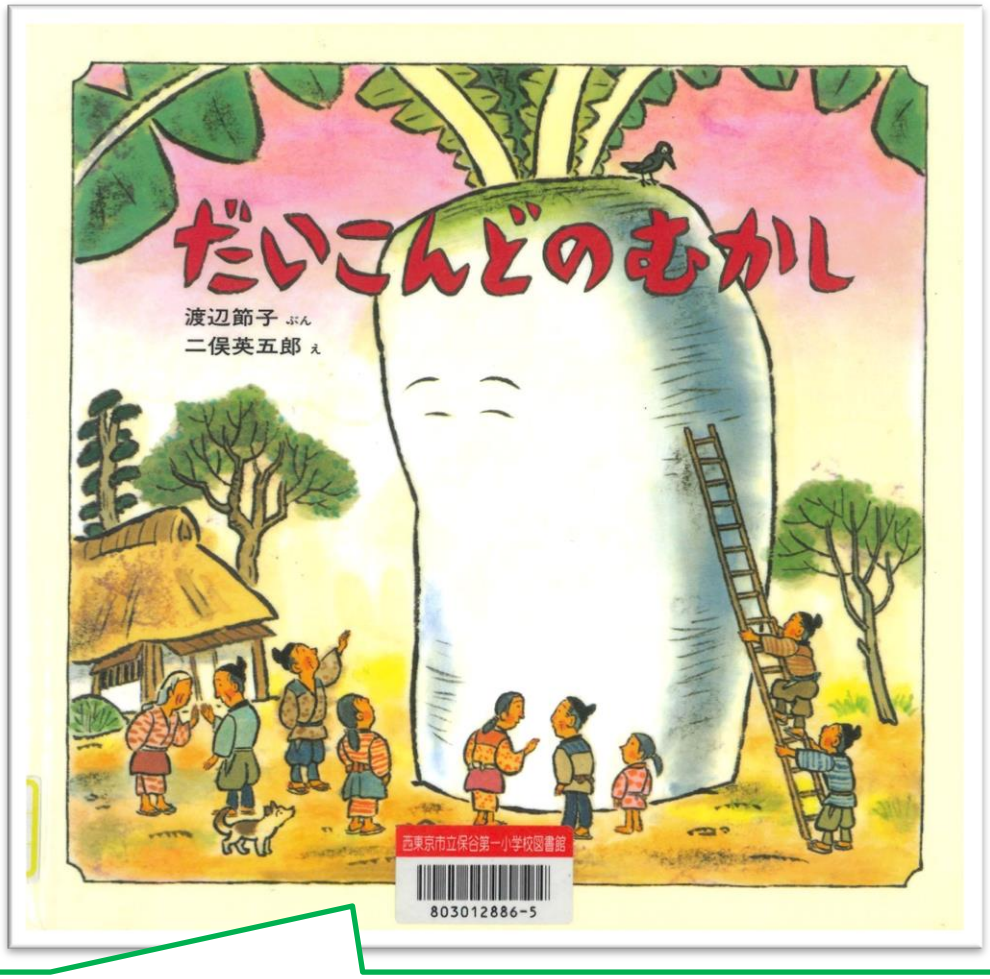
10月30日のきゅうしょくの本
（たくあんごはん　おでん　大根菜のじゃこ炒め）



“おが、おが”そだって、“めく、めく”泣く「だいこんどの」、“すぽり、すぽり”の音のあとには何が起こったでしょうか…？山形弁の独特のリズムとともに、東北のきびしい自然や農家の暮らしの様子を伝えてくれる昔話の絵本です。

給食では「だいこんどの」に感謝の気持ちをこめて、旬の大根を葉っぱから根っこまで丸ごと使ったメニューにしました。おでんの中の「だいこんどの（かぶどの？）さつまあげ」も、ありがたくいただいてくださいね。

文：渡辺節子
絵：二俣　英五郎
出版社：ほるぷ出版

令和元年度　西東京市立保谷第一小学校
栄養士　横張　泉